

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議が報告や情報交換にとどまり、積極的な意見交換が中々なされない。	地域交流・地域貢献のきっかけ作りやサービス向上に反映することができる会議に成長させる。	会議の議題を、施設長、小規模多機能型居宅介護事業所管理者、グループホーム管理者と作成し、現場から地域へ投げ掛ける内容に変更していく。	12ヶ月
2	12	給与水準の低さのため離職する職員が多い。	職員がやりがいを持って働くことができる環境作り。	部門長会議において、スタッフが働きやすい環境や条件を果たすための積極的な意見交換や具体的に取り組んでいける体制を整える。	12ヶ月
3	13	職員によって専門職としての知識や実践、力量や向上心等の差があり、チームケアとしての歯車がくるってしまう時がある。	理念を胸にケアできる。	施設内外研修の機会を設け、研修後は講師役となり活躍できる場を設ける。	12ヶ月
4	2	地域交流に乏しい。	地域との繋がりを広げ、地域の一員として活動することが出来る。	管理者は地域活動に参加し、事業所が地域の一員として活動できる基盤を作る。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。